

おいしい米

づくり情報 第7号

“新・米づくりやまがた日本一運動”
庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課
Tel. 0235-64-2103

●本号のテーマ●

平年より4日程度の生育の遅れ、昨年同様茎数が少ない状況です！

ポイント → 茎数確保のため積極的に浅水管理を！

6/10の調査では、茎数が平年の7割程度と非常に少ない状況です。

現在、平坦地域では6葉目が完全展開しつつあり、ようやく分けつがみられるようになってきました。

いかに早く茎数を確保するかが、今後のポイントとなります。

また、6月に入ってから降雨が少なかったため、田のワキが進んでいるほ場も見られています。

水交換など田のワキ対策を行うとともに、**追肥(分けつ肥)などは行わず分けつを促す浅水管理**を行いましょう。

●生育状況

5月下旬が低温傾向で、活着に時間を要したため6月に入っても葉色が淡いままのほ場が多い状況です。現在は天候も回復していますが、生育は平年より4日程度遅れています。

その中で、田のワキが進んでいるほ場も見られます。

これらのことから、茎数の確保には依然としてきめ細かい管理が必要です。

なお、本年も昨年同様、地域や田植えの早晚等によって生育の違いが大きいようです。ほ場に合わせたきめ細かな管理を行いましょう。

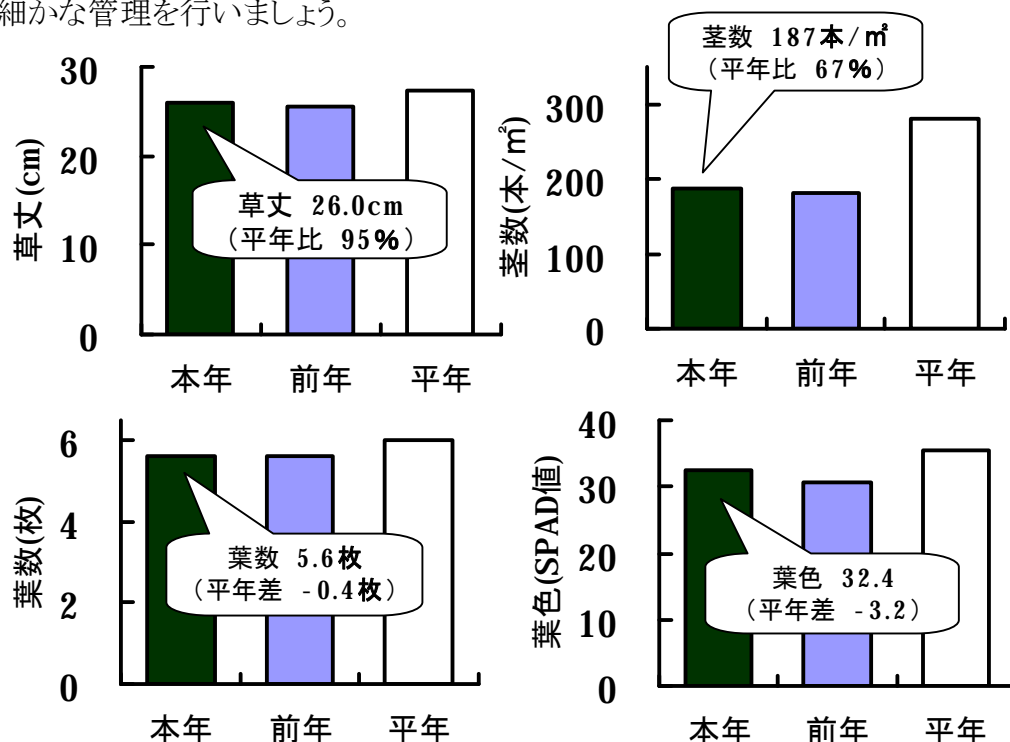


図1 作柄診断ほ6/10の生育(鶴岡市矢馳、はえぬき)

気を引き締め、農作業事故を無くそう！ 緊急広報活動も実施中

●今後の対応

①きめ細かな水管理で早めの茎数確保を

例年、8葉期頃までに確保された茎が有効茎(穂)になっています。今年は葉数が遅れていますが、6/25頃までの有効茎確保が重要です。有効茎確保の遅れは、中干し開始時期の遅れにもつながり、根張り等にも影響する場合があります。

早めの茎数確保をめざし、浅水管理を中心とした水管理で分けつの発生を促進しましょう。

- ① 水深2~3cmの浅水管理。
- ② 日中は止水にし、水温をできるだけ上げる。
- ③ 水の補給は、夜間か早朝に行う。
- ④ 畦畔からの漏水には畦マルチ(シート)を!

②田んぼのワキ対策を

6月に入り、強い雨がなかったことなどから、田んぼのワキが急激に進んでいるほ場も見られます。ワキの状況に応じ、好天日を選んで、“水交換”、“夜間落水”、“2~3日程度の田干し”をしましょう。

ワキの程度	生育への影響	対策	
		分けつ初中期	分けつ盛期
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い。	根活力低下	水交換	
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する。	根張り不良	夜間落水	
晴天時自然に気泡を発生し、音がする。 水田を歩くと著しく気泡が発生する。	根の伸長阻害 地上部黄化	田干し (2~3日)	間断かんがい 田干し

③茎数確保が終わったら遅れずに作溝・中干しに切り替えましょう!

今年は全体的に茎数の確保が遅れていますが、目標茎数(下表)を確保したら、作溝・中干しに切り替えましょう。

つや姫	はえぬき	コシヒカリ	ひとめぼれ	ササニシキ
440本/m ²	480本/m ²	410本/m ²	500本/m ²	520本/m ²

●病害虫防除

①カメムシ類

- 生息密度低減のため、日頃から畦畔や農道等の除草を徹底しましょう。
- そば作付け予定ほ場も、放置せず早めに耕起することで、雑草の繁茂を抑えましょう。
- 休耕田も定期的な耕起を行い、除草しましょう。

②いもち病

- 補植苗を放置しておくると**感染源となります。直ちに処分しましょう!**
- 葉いもち予防剤は、発病前あるいは発病のごく初期に散布すると効果が高く、効果の持続性も長くなります。**6月20日頃までに**散布しましょう。